

2012年度総会の報告

三嶋秀恒（松戸市）

開催日：2012年2月11日（土・祝日）

場 所：千葉市生涯学習センター

出席者：68名、委任者数：162名 計230名、会員数：314名（2月10日現在）

特別講演（司会・講師紹介：伊藤道男） 13：00～14：00

「きのこの暮らしぶりから自然を見る」

講師：千葉県立中央博物館 植物学研究科 上席研究員 吹春俊光 氏

総会（司会・進行：井上智史） 14：20～16：30

議題：11年度行事報告・会計報告、12年度行事・予算案提案、規約改定など

議長：坂本文雄（佐倉市）、書記：勝野友博（八千代市）・木嶋恵子（睦沢町）

*特別企画：自然観察会「青葉の森公園でバードウォッチング」 9：30～11：30

担当 和仁道大・谷 英男 参加者数：31名

*懇親会：千葉市生涯学習センター内「うのはな」 16：30～18：30

担当 田口信一郎・盛一昭代 参加者数：51名

特別企画（自然観察会）：寒い朝でしたが、集合時間には太陽が顔を出し、風がなく、観察会日和でした。和仁さんと谷さんのグループに分かれの観察で、青葉ヶ池や舟田池ではコサギやカモ類が観られました。カルガモの脚にある水かきがイチョウの葉に似ていることや鳥の観察会のルートは太陽を背にしたコースを選ぶとよい、などの有意義なお話を聞くことが出来ました。鳥合せ：25種類。

特別講演：吹春俊光氏の話は、きのこは何か？ きのこの本体は地下に広がる菌糸の塊で、胞子で増え、きのこは様々な繁殖の創意工夫を行っている から始まりました。

クイズ形式の進め方で、1)世界最大のきのこは？ 東京ドームの3個分、シロナガスクジラ100トンに匹敵する重さで1500年以上も生きている。2)きのこ恐竜はどっちが古いか？（地球に登場した年代）きのこの仲間が地球に登場したのは1～2億年前なので、恐竜よりも少し新しい。3)きのこは何故カサをさしているのか？ 射出胞子の機構を濡らさないために傘をさしたのかもしれない。そして、きのこの創意工夫は、①胞子を飛ばす工夫、②菌糸を広げる工夫、③共生という暮らし方（繁殖）の工夫がある。外生菌根菌・腐生菌とランの仲間の絶妙な共生の具体例のお話しなどで、1時間があっという間に過ぎてしまいました。

次の機会は、「きのこの暮らしぶり Part II」をお願いしたいとの発案がありました。

総会：小西代表からの挨拶の後、坂本さんが議長、勝野さんと木嶋さんが書記に選出されて、議事進行しました。行事報告は小西代表からPPTを使用して詳細に分りやすく発表があり、会計報告は浦部さん、会計監査報告は嶋野さんから発表があり、承認されました。行事案は、昭和の森観察会・東葛しぜん観察会・受託事業等・SSN 関連・研修会等および予算の提案で、それぞれの担当役員からの熱のこもった説明があり、承認されました。去年はNACS-J 自然観察指導員講習会が開催されなかったため入会者数が減少したため会員数は減少、併せて受託事業の減少のため収入減で、今後の運営を危惧されるどころです。

規約改正：5項の「その他役員 20名以内」に増員の提案があり承認され、新役員に渋谷孝子さん（東葛しぜん観察会担当）が紹介されました。

また、付則の3)で家族が会員の場合とあるが、同居の親族を考えている。内規改正の報告があり、打合せ会等出席者の補助（700円均一）は遠距離の場合は過大な負担が発生しないよう運用をしていくなどの応答がありました。

懇親会：新装の会場に移り、たっぷりの食事と飲み物で親睦、「今年の夢を語る」のテーマで全員が一言ずつ自己紹介があり、久しぶりの方もいて、楽しい雰囲気でした。